

令和4年度第1回富山市交通空白輸送地域公共交通会議 議事録

1. 日時 令和4年7月6日(水) 13:30～14:15

2. 場所 富山市役所 議会棟8階 第3委員会室

3. 出席状況

【出席者】

団体名等	職名	氏名	備考
金沢大学融合研究域融合科学系	教授	中山 晶一朗	
富山市自治振興連絡協議会	副会長	山田 憲彰	代理出席
富山地方鉄道株式会社自動車部運行管理課	課長代理	大野木 貴吉	
富山県交通運輸産業労働組合協議会	副議長	金山 剛	代理出席
富山県タクシー協会	専務理事	清澤 新一	
全国自動車交通労働組合富山地方連合会	執行委員長	石橋 剛	
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局	首席運輸企画専門官	鴻島 純	
富山県警察本部交通部交通規制課	課長	関口 健次	代理出席
富山県交通政策局交通戦略企画課	課長	有田 翔伍	代理出席
富山県富山土木センター	次長	木本 彰一	
富山市活力都市創造部	部長	中村 雅也	

【事務局】

- ・富山市活力都市創造部交通政策課 課長 高田 興真、主幹 佐野 正典、
主幹 宮口 尚久、副主幹 唐木 克尚
主査 杉本 祐樹

4. 議事

- ・議決事項

議案第1号 市営八尾コミュニティバスの運行社会実験について

議案第2号 コミュニティバスにおける「親子でおでかけ事業」の実施について

資料

- ・会議次第
- ・委員名簿
- ・配席表
- ・会議資料
- ・富山市交通空白輸送地域公共交通会議設置要綱

議案第1号 市営八尾コミュニティバスの運行社会実験について

【資料説明】 事務局

【意見・質問要旨】

(鴻島委員)

平成23年度から八尾コミュニティバスの利用者数が減少する中で、見直しを行い社会実験を行うことはとても良いことだと思うが、ルートやバス停に関する利用者の要望はどのような手法で聴取を行ったのか。

(富山市)

八尾コミュニティバスを運転するドライバーがバス利用者から要望等の聴取を行っている。また、温浴施設から施設利用者のコミュニティバスに関する要望について聴取を行った。

(大野木委員)

今回の見直しによる利用者数の目標値は。

(富山市)

目標値は設けていないが、今より利用者数を増やすことが目標である。

(関口委員代理)

使用している車両はマイクロバスか。

(富山市)

マイクロバスまたは45人乗りの中型バスである。

(関口委員代理)

適正な大きさの車両を使用してほしい。

(富山市)

新しい車両を購入する際には、利用者数を見ながら、適正な大きさを検討している。

(有田委員代理)

ルート等、大きな見直しを実施するのは今回が初めてか。

(富山市)

初めてである。

(有田委員代理)

見直しによる効果の検証方法は。

(富山市)

利用者数の把握や利用者アンケート等を行う予定である。

(中山会長)

平成28年度から29年度にかけて杉原線と保内線の利用者数が減少しているが、ルート等に変更があったのか。

(富山市)

ルート等に変更はなかった。温浴施設の年間利用パスがなくなったことが原因の一つと考えられる。

(清澤委員)

各路線の利用状況を見るとバスでの対応に限界があるように思う。タクシーが公共交通として位置付けられている中で、タクシーの活用も検討していただきたい。

(富山市)

今年度、コミュニティバスのあり方検討を行うこととしており、その中で検討していく。

(木本委員)

県道の道路管理者として、道路工事のため大長谷線、桐谷・茗ヶ原線のルートの一部通行止めとし八尾コミュニティバスに迂回していただいているが、社会実験の支障にならないよう早急に工事を終えたいと考えている。

(関口委員代理)

通行止めによるルート変更の場合、また警察へ相談いただきたい。

(中山会長)

通行止めによるルート変更により、バス停位置の変更はないか。

(富山市)

変更はない。

(石橋委員)

コミュニティバスのあり方検討は市内全域のものか。また八尾コミュニティバスの社会実

験の結果は、本会議を開催し議論するのか。或いはコミュニティバスのあり方検討の議論と合わせて、次年度以降の運行内容を検討するのか。

(富山市)

社会実験とは別に市全域を対象にコミュニティバスのあり方検討を進めている。その中で、ルートや時刻の変更があれば本会議において、委員の皆様のご意見を賜りたい。

(石橋委員)

八尾コミュニティバスの運行社会実験の結果は協議しないのか。

(富山市)

運行社会実験の結果を含めて本格運行に関して本会議で協議するかどうか検討する。

【議決】 原案のとおり承認

議案第2号 コミュニティバスにおける「親子でおでかけ事業」の実施について

【資料説明】 事務局

【意見・質問要旨】

(中山会長)

「親子でおでかけ事業」の対象期間の延長や対象範囲を拡大する考えはあるか。

(富山市)

親子でおでかけということ夏休みを対象としているため、期間の延長はない。今後、他市町村でも実施したい意向があれば対象範囲の拡大も考えられる。

(鴻島委員)

確認ですが、毎年「親子でおでかけ事業」は実施しているが保護者の運賃を無料にする施策は来年度以降も実施する予定か。

(富山市)

来年度、実施するかどうかはまだ検討していない。

【議決】 原案のとおり承認

(以上)